

## 2024年度 同志社大学大学院 司法研究科

### 後期日程入学試験問題 法律科目試験

#### (刑 法)

---

次の（設例）を読んで、X、YおよびZの罪責について論じなさい（ただし、建造物等侵入罪および特別法違反の点を除く）。（配点：100点）

##### （設例）

- 1 Xは、酒気帯び運転等により自動車運転免許停止処分を受けていたが、友人のYから「俺が運転免許を持っているから、俺の名前を使ったら」と勧められ、Yの本籍、住所、生年月日を書いたメモを渡されていたので、無免許運転をしていた。
- 2 しばらくして、金に困ったXは、同様に遊ぶ金に困っていたZと共謀して、Xの運転する自動車（以下「X車」という）をZの運転する自動車（以下「Z車」という）に故意に追突させてZに傷害を負わせ、これをXの過失により生じた交通事故のように装って保険金をだまし取ることを計画した。Xは、自己に嫌疑が及ぶのを避けるために、より本物の交通事故にみせかけようと考えて、無関係の第三者の自動車をX車とZ車の間に入れた玉突き事故を装うこととした。
- 3 この計画に基づいて、某日、Z車が先行し、Aが運転する自動車（以下「A車」という）がこれに続き、Xは、Z車を見失わないようにA車を追尾しながらX車を走行させ、交差点に差ししかかった際、赤信号でZ車が停車し、続いてA車が停止した時、Xは、X車を突然加速させた。これに驚いたAは、咄嗟にX車を避けようとしてA車を急発進させてZ車後部に追突した。その結果、Zは、頸椎捻挫のため、4週間の入院加療を要する傷害を負った。
- 4 その事故現場で、警察官の事故調査に際して、Xは、「免許証は家に忘れてきました。」と言って、Yの氏名等を称し、道路交通法違反（免許証不携帯）の交通事件原票の供述書欄に「Y」と署名して、これを警察官に提出し、後に交通反則金を支払うことでその場を切り抜けた。
- 5 後日、Zは、自動車安全運転センターから交付を受けた交通事故証明書その他の必要書類を保険会社Bに提出し、交通事故の保険金の支払いを請求した。Bは、Zの請求の内容を信じ、C銀行D支店（支店長E）のZ名義の預金口座に保険金として30万円を振り込み送金した。
- 6 Zは、Bから振り込まれた30万円を同支店のATMから引き出し、Xと山分けした。